

2009年3月期 第2四半期決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

2008年11月12日



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2008年11月12日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2008年11月12日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I .当第2四半期の決算及び事業の概況

II .当第2四半期の取組み

III .当社を取り巻く環境

IV .今後の戦略及び重点課題

V .当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

I .当第2四半期の決算及び事業の概況





2009年3月期 第2四半期連結決算の総括とポイント

① 口座数は順調に拡大、預り証拠金は大幅な円高により微増。

総口座数	65,463口座	2009/3期1Q比	13.1%増
預り証拠金	27,463百万円	2009/3期1Q比	1.7%増

② 外国為替顧客取引高は大きく増加。創業以来最高記録を更新。

2008/7-9月取引高	約1,670億通貨単位	2008/4-6月比	65.6%増
--------------	-------------	------------	--------

③ 第2四半期(2008/7-9)の営業収益は2,546百万円、
経常利益は1,053百万円に。
(2008/4-9は営業収益4,018百万円、経常利益1,446百万円)

- ✓ 外国為替証拠金取引のホワイトラベル提供や市場要因により取引高が大幅に増加し営業収益増加
- ✓ 新商品提供や積極的な新規顧客獲得活動による顧客基盤拡大
- ✓ 顧客利便性向上と信頼性強化のためのシステム関連投資増加
- ✓ ホワイトラベル提供や顧客基盤拡大のためのキャンペーンによる販管費増加

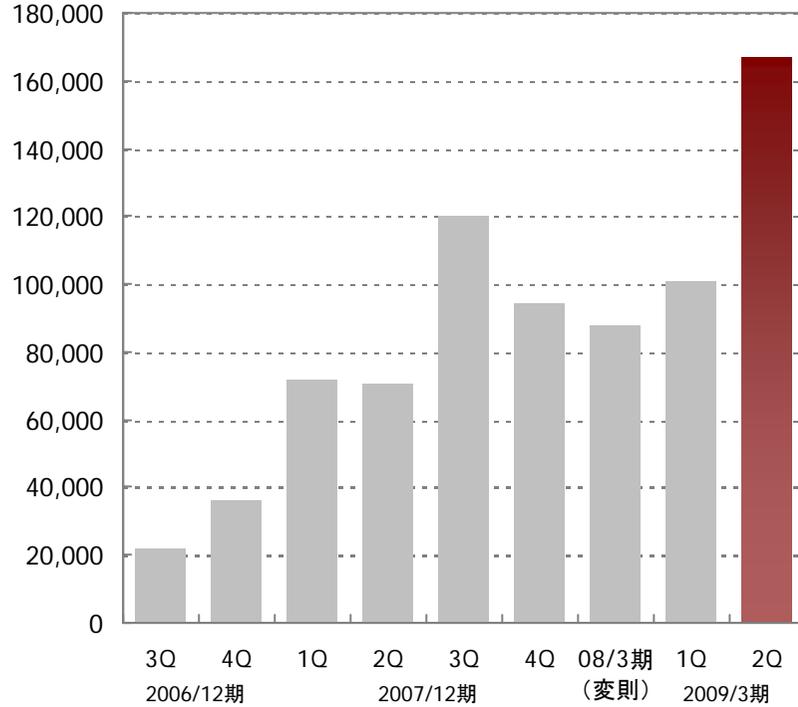


Money Partners Group

取引高と営業収益

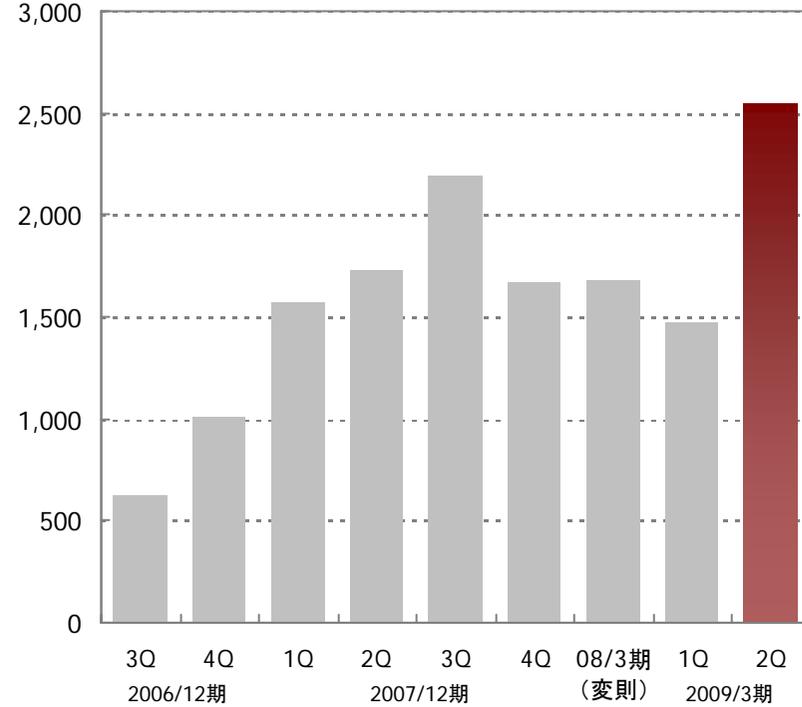
(百万通貨単位)

外国為替取引高



(百万円)

営業収益



(単位＝外国為替取引高：百万通貨単位、営業収益：百万円)

	06/12期 3Q	06/12期 4Q	07/12期 1Q	07/12期 2Q	07/12期 3Q	07/12期 4Q	08/3期 (変則決算)	09/3期 1Q	09/3期 2Q
外国為替取引高	22,139	36,365	71,828	70,229	120,069	93,972	87,605	100,897	167,047
営業収益	624	1,003	1,568	1,723	2,186	1,665	1,677	1,471	2,546

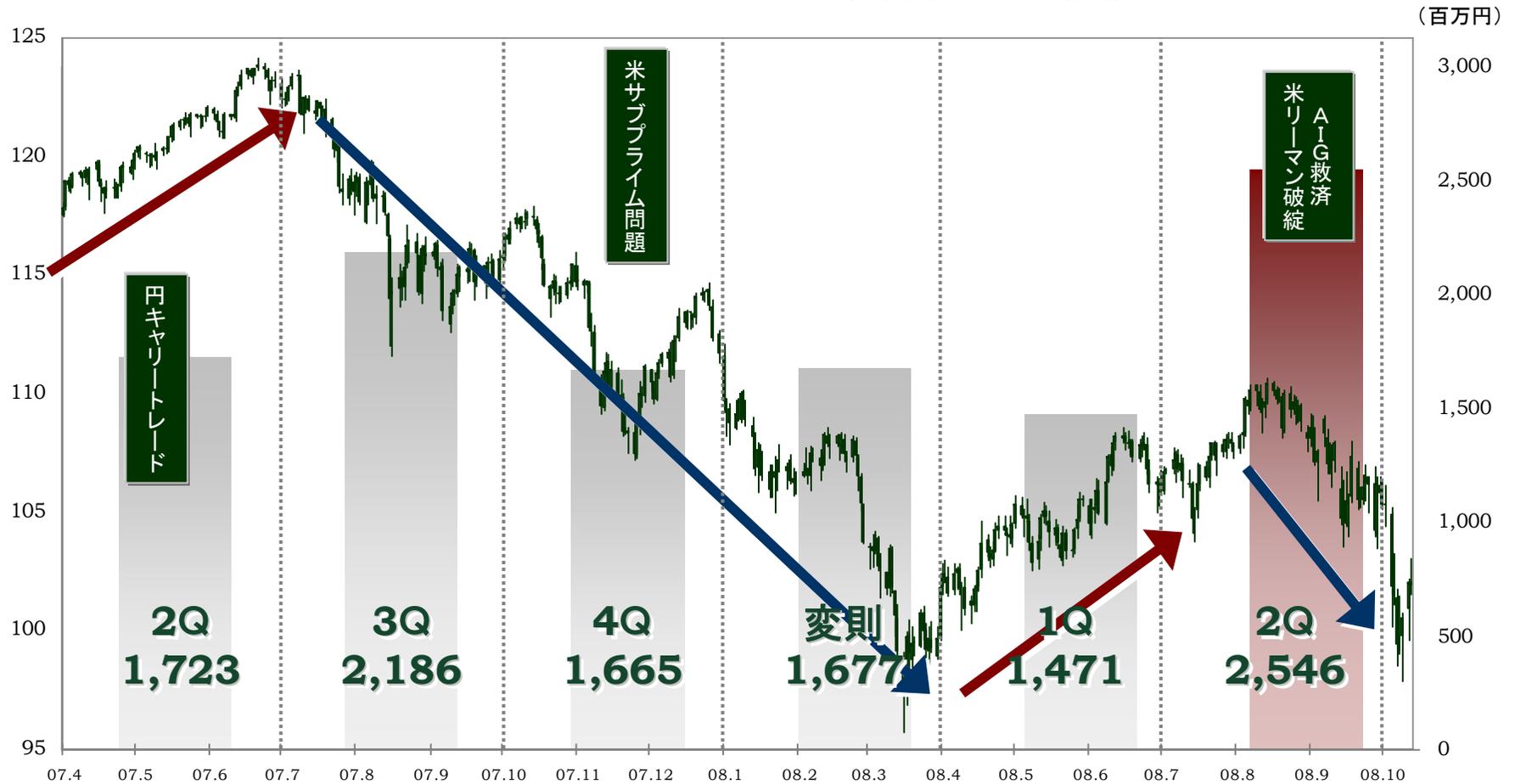
取引高は前四半期比で65.6%増、営業収益は取引高激増により前四半期比で73.0%増



Money Partners Group

市場環境と事業の動向

【 USD／JPY日足チャートと当社営業収益の推移】



当第2四半期では米リーマンブラザーズホールディングスの破綻やAIG救済などの影響で為替相場が激変し、当社の収益は、過去と同様に為替の水準や方向ではなく、値動きに大きく影響を受けた

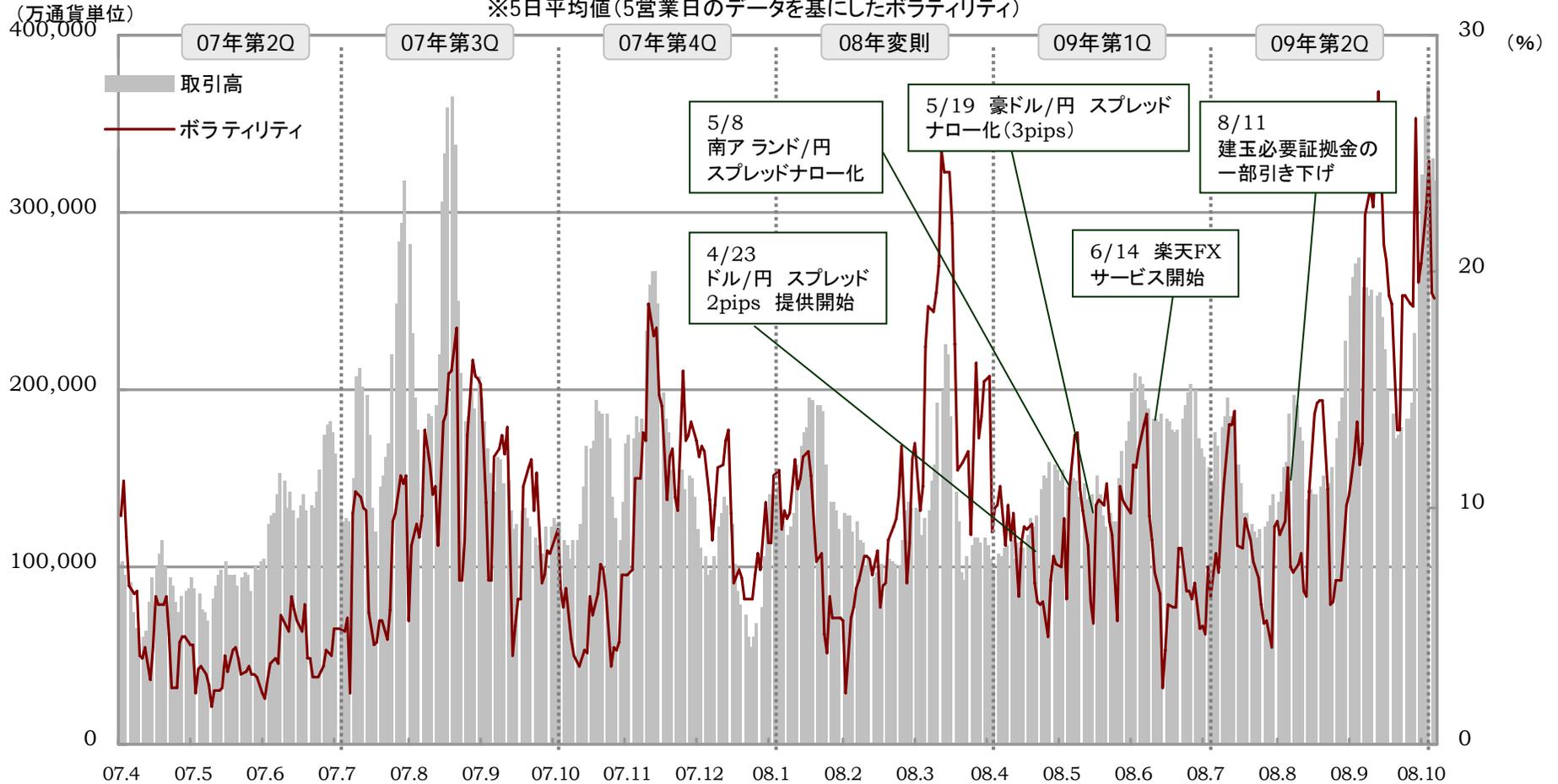


市場環境と事業の動向

Money Partners Group

【取引高・ドル円ボラティリティの推移】

※5日平均値(5営業日のデータに基づいたボラティリティ)



7月～9月にかけてボラティリティが右肩上がりにより上昇したことや顧客利便性の向上策による顧客基盤拡大、楽天FXサービス開始などが起因して、取引高は前四半期を65.6%上回った



四半期業績推移

Money Partners Group

◆新経理基準による四半期業績推移(※2007年12月期及び2008年3月期は、旧経理基準の財務数値を組み替えて表示しております。)

単位:百万円

	2007/12期				2008/3期	2009/3期		前四半期 対比増減
	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,568	1,723	2,186	1,665	1,678	1,471	2,546	73.0%
受入手数料	1	0	1	0	1	1	0	-
トレーディング損益	1,550	1,702	2,158	1,640	1,649	1,445	2,511	73.8%
金融収益	16	20	26	24	27	24	30	26.1%
その他の営業収益	-	-	-	-	-	1	3	209.7%
金融費用	0	0	0	0	0	0	0	-1.9%
純営業収益	1,567	1,722	2,186	1,664	1,677	1,470	2,545	73.1%
販売費・一般管理費	487	564	726	689	754	1,076	1,468	36.4%
営業利益	1,080	1,159	1,459	976	922	393	1,076	173.3%
経常利益	1,079	1,098	1,430	972	922	393	1,053	167.9%
税金等調整前四半期純利益	1,079	1,095	1,430	927	922	392	1,046	166.4%
四半期純利益	665	710	880	594	585	287	663	130.9%
営業収益経常利益率	68.8%	63.7%	65.5%	58.4%	55.0%	26.9%	41.4%	-

1. 2009/3期第2Qは、取引高激増により、対前四半期比で営業収益73.0%増
2. 顧客基盤拡大策の実施に加え、ホワイトラベル展開および自社システムへの継続的な投資等により販売費・一般管理費が増加したが、営業収益の増加に伴い経常利益は1,053百万円となった



四半期販管費

◆新経理基準による販管費

単位:百万円

	2009/3期		旧経理基準との対応について
	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	
取引関係費	346	635	広告宣伝費、支払手数料、電算機費の一部(支払手数料関係)、 その他の一部(通信・運送費等)
人件費	216	230	人件費、その他の一部(顧問料等)
不動産関係費	266	262	電算機費の一部(データセンター関係、器具備品関係)、その他 の一部(地代家賃等)
事務費	133	209	電算機費の一部(業務委託関係)、その他の一部(業務委託費 等)
減価償却費	62	76	変更なし
租税公課	27	33	その他の一部(租税公課)
貸倒引当金繰入れ	1	5	第1四半期より発生
その他	22	16	その他の一部(会議費、人材採用費等)
販売費・一般管理費合計	1,076	1,468	

1. 旧広告宣伝費及び旧支払手数料は、取引関係費に集計。
2. 旧電算機費は、データセンター関係及び器具備品(ソフトウェアを含む)関係は不動産関係費に、支払手数料関係は取引関係費に、業務委託関係は事務委託費にそれぞれ集計。



四半期販管費推移(ご参考)

◆旧経理基準による販管費推移

単位:百万円

	2007/12期				2008/3期	2009/3期		前四半期 対比増減
	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
人件費	136	156	175	199	188	214	232	8.2%
広告宣伝費	67	76	145	49	53	169	187	10.8%
電算機費	115	133	171	164	184	281	364	29.4%
減価償却費	3	5	13	21	33	62	76	22.6%
支払手数料	53	72	82	63	67	98	389	294.9%
その他	110	119	138	190	226	250	218	△12.6%
販売費・一般管理費合計	487	564	726	689	754	1,076	1,468	36.4%

(※2009年3月期第1Qおよび2Qは、旧経理基準の財務数値に組み替えて表示しております。)

1. ホワイトラベル提供の本格化に伴い変動費である外国為替取引手数料が増加し、支払手数料が前四半期比291百万円増加
2. 電算機費は、ホワイトラベル提供による変動費及びハードウェア設備の増強に係る一時費用を中心にインフラの強化により82百万円増加し、減価償却費も14百万円増加。
3. 広告宣伝費は、新規顧客獲得に引き続き注力した結果、18百万円増加。



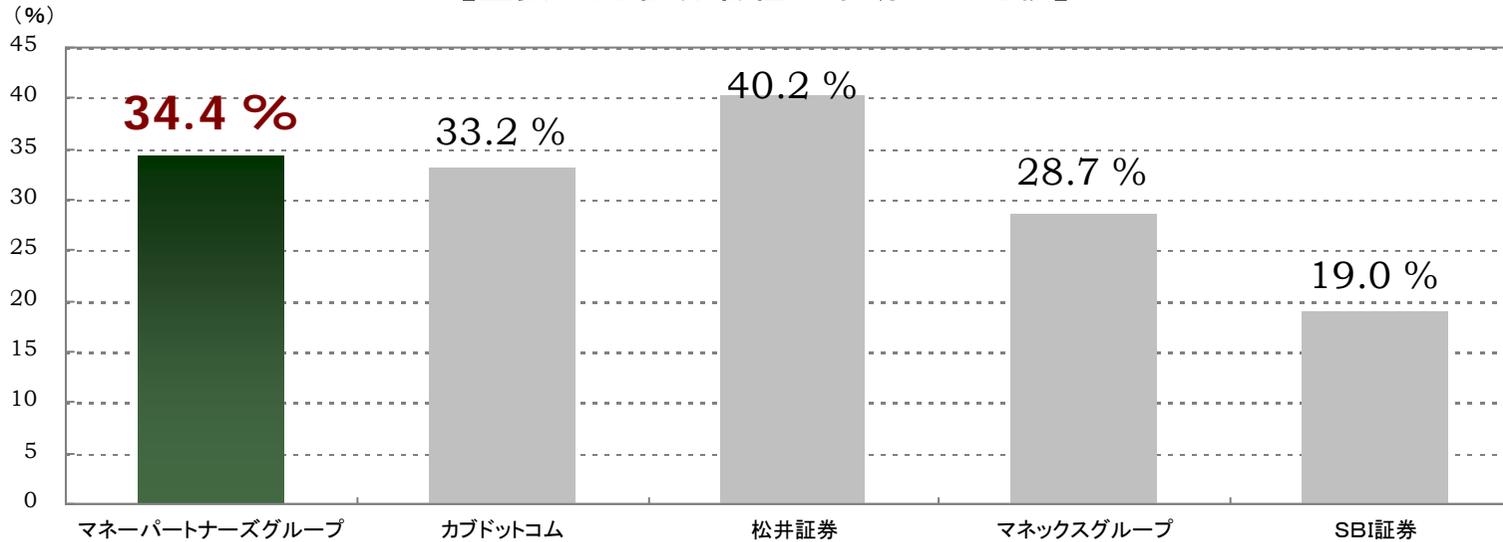
Money Partners Group

主要経営指標推移

単位: %、百万円

	2007/12期				2008/3期	2009/3期	
	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)
ROE(自己資本利益率)※	140.3%	70.4%	56.1%	33.8%	32.1%	15.7%	34.4%
[参考]自己資本	2,230	5,839	6,724	7,035	7,226	7,376	8,046
営業収益経常利益率	68.8%	63.7%	65.5%	58.4%	55.0%	26.9%	41.4%

【主要ネット証券各社四半期ROE比較】



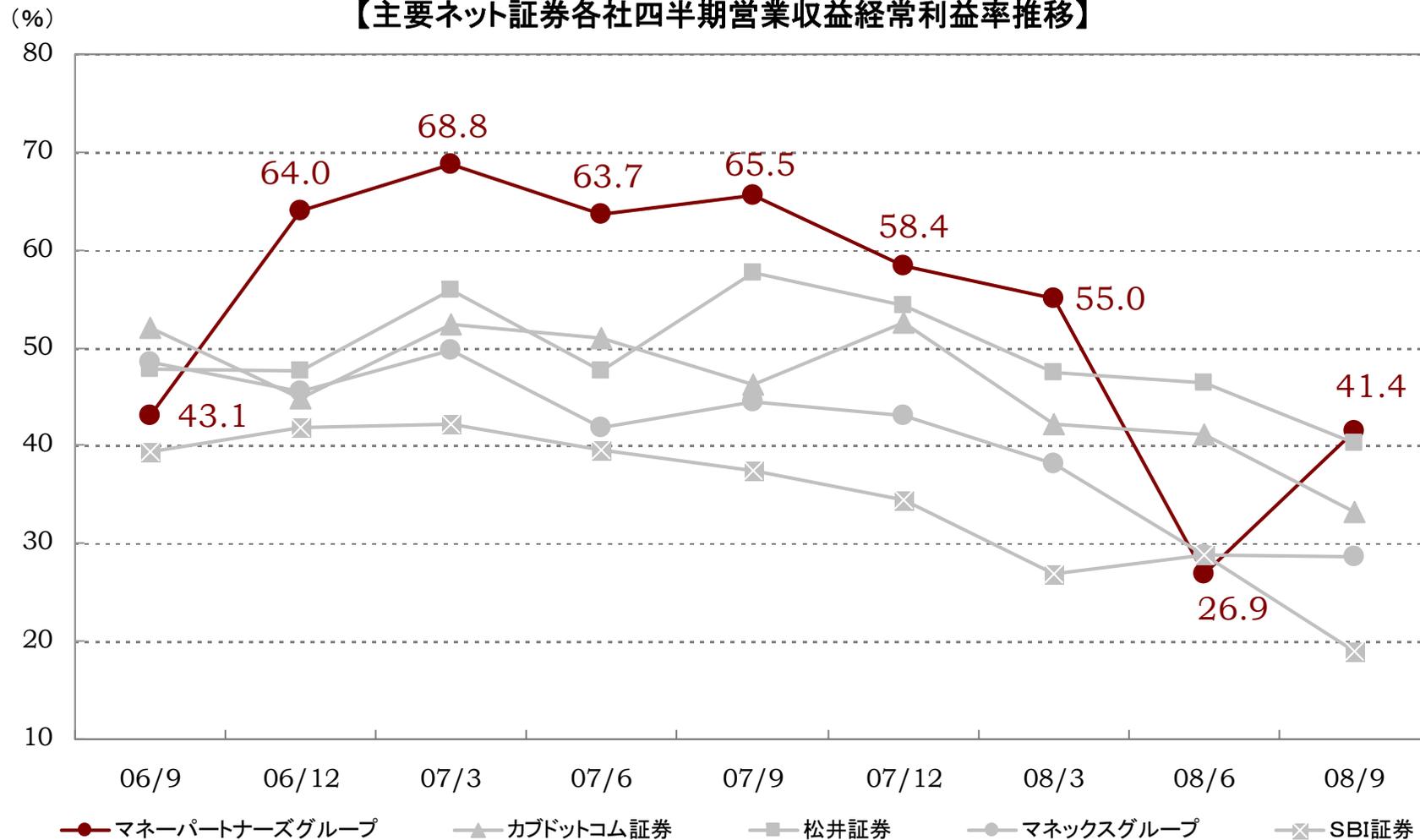
※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。

当第2四半期のROEについては、主要ネット証券各社と同水準まで回復

【主要ネット証券各社四半期営業収益経常利益率推移】



経常利益率については、取引高増による営業収益増加により上昇

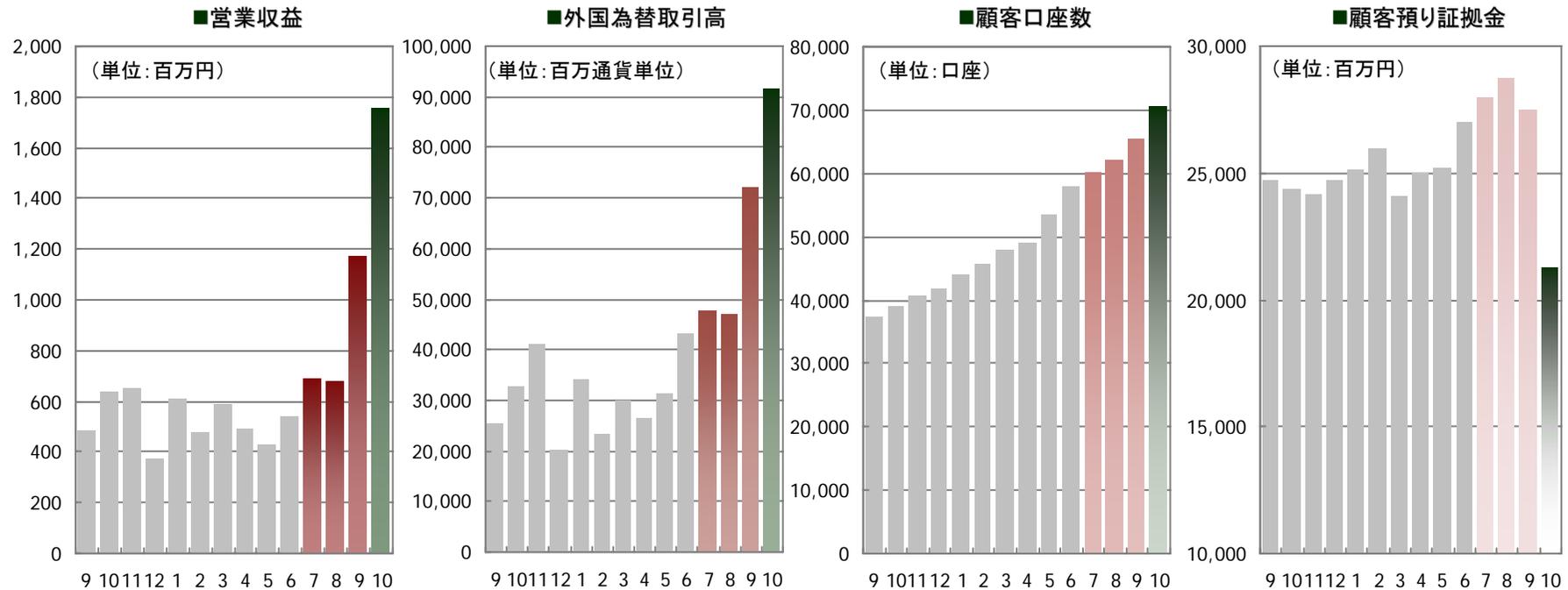


業績指標推移

Money Partners Group

	9月	10月	11月	12月	08/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業収益(百万円)	484	636	651	377	608	477	591	494	431	544	690	682	1,173	1,756
取引高(百万通貨単位)	25,465	32,705	41,210	20,056	34,255	23,269	30,080	26,516	31,238	43,143	47,888	47,080	72,079	91,750
顧客口座数(口座)	37,326	39,027	40,669	41,911	43,967	45,731	47,948	49,092	53,559	57,858	60,183	62,190	65,463	70,603
顧客預り証拠金(百万円)	24,712	24,372	24,172	24,737	25,123	25,942	24,061	25,009	25,209	27,004	27,953	28,739	27,463	21,324

※営業収益、取引高、顧客預り証拠金につきましては、ホワイトラベル提供先の数値も含んでおります。またホワイトラベルによるトレーディング収益は当社の営業収益として全額計上した上で、当社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき手数料を販売費・一般管理費に計上する方法をとっております



顧客基盤拡大策と商品性及びサービスの向上で顧客口座数と取引高が大幅に拡大

Ⅱ. 当第2四半期の取組み





2009年3月期第2四半期の主な取り組み

システム関連の取り組み

- ◆ 第1データセンターのデータベースサーバの耐障害性及びパフォーマンスを更に強化

顧客向けサービス関連の取り組み

- ◆ パートナースFX、建玉必要証拠金の一部引き下げを実行
- ◆ お客様専用振込口座の開設
- ◆ 自動音声によるリアルタイムレート配信開始
- ◆ オリジナル多機能ブログパーツの提供

顧客基盤拡大に向けての取り組み

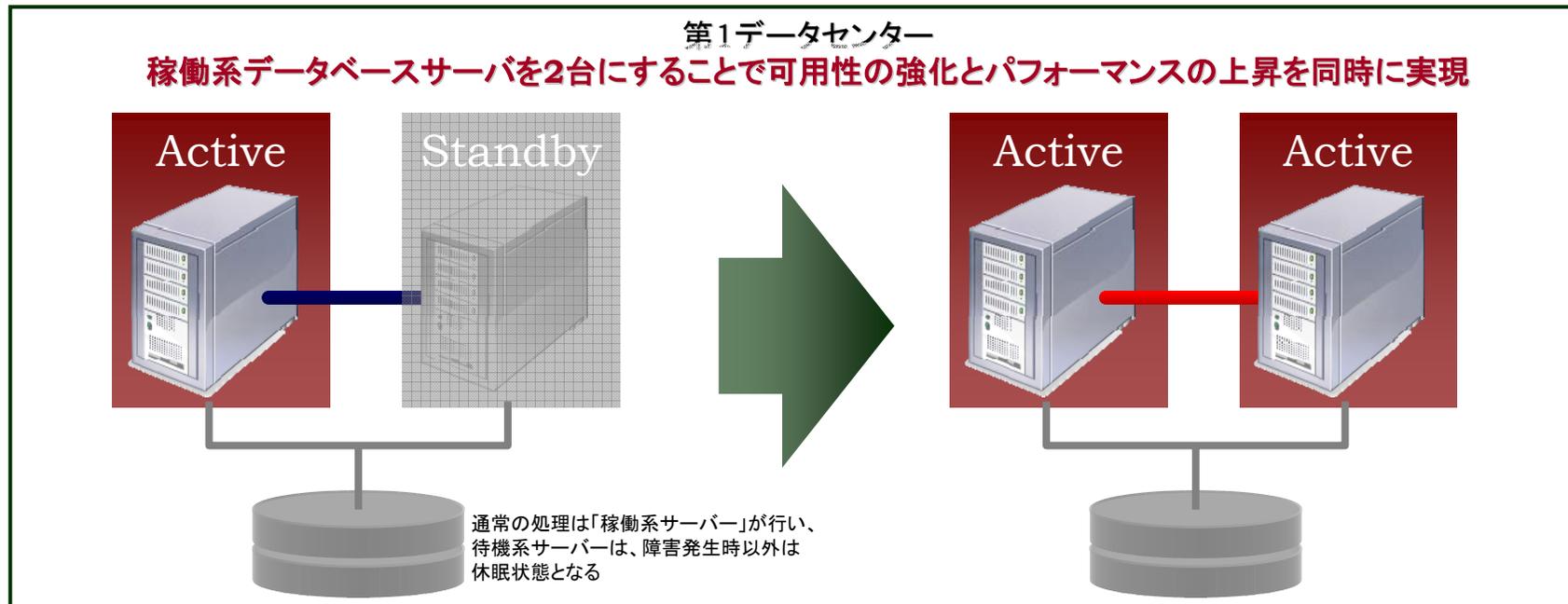
- ◆ 継続的な口座拡大キャンペーン実施による顧客基盤の拡大
- ◆ 『パートナース FX nano』及び『XFX』リリースによる顧客層の拡大

BtoBビジネスに関する取り組み

- ◆ 楽天FXの安定稼働
- ◆ 大証FX(仮称)のシステム導入に関するコンサルティング

◆ 第1データセンターのデータベースサーバの耐障害性及びパフォーマンスを更に強化

Oracle RAC (Real Application Clusters) の導入で更なる冗長化構成を実現



- 可用性の強化 — データベース・アプリケーションの24時間365日連続稼働を強かに推進
- 障害時の高速対応 — 再起動不要の高度なフェールオーバーを実現
- パフォーマンスの上昇 — 待機系システムを廃し稼働系システムのみ構成することで高速稼働を実現
- スケーラビリティの拡大 — クラスタにサーバを追加するだけで処理能力を拡張可能

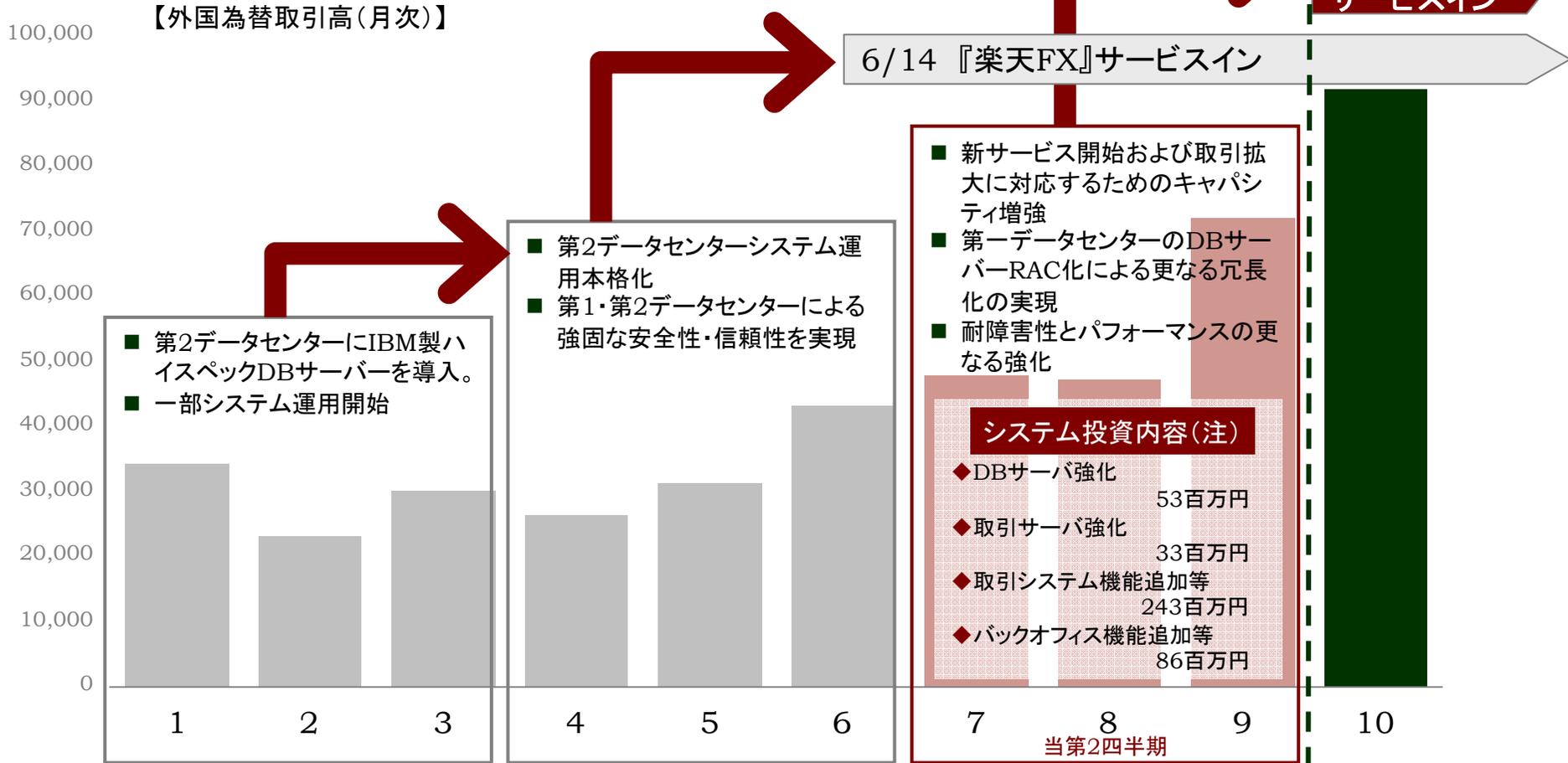
システム投資を怠らず、安全性及び信頼性を着実に強化



Money Partners Group

システム関連の取組み

◆ 新サービスに備えたシステムの強化



(注)サーバ強化のための費用42百万円を含めております。

新サービス開始に伴う取引高増加を見越した継続的なシステム投資を実施

顧客向けサービス関連の取組み

◆ パートナースFX、建玉必要証拠金の一部引き下げを実行

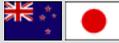
1. 長年のシステム投資による、システムの安定化やディザスタリカバリ(災害等の被害からの予防・復旧措置)能力向上。
2. システムの安定化による自動ロスカット等の監視間隔短縮化に伴い、従来に比べ遥かにきめ細かなお客様の余力確認の実現。
3. 市場実勢から大きく乖離した異常レートの配信排除を目的とした、4重のフィルタによる異常レート除去ロジックの実現。




DOWN

**2008年8月11日より、下記通貨ペアにおいて
建玉必要証拠金を引き下げ**


DOWN

			旧建玉必要 証拠金金額	新建玉必要 証拠金金額	H20/8/5現在の 証拠金との比較
	ドル/円	USD/JPY	25,000円	20,000円	5,000円引き下げ
	ポンド/円	GBP/JPY	50,000円	40,000円	10,000円引き下げ
	NZドル/円	NZD/JPY	20,000円	15,000円	5,000円引き下げ
	カナダドル/円	CAD/JPY	25,000円	20,000円	5,000円引き下げ
	ポンド/ドル	GBP/USD	50,000円	40,000円	10,000円引き下げ

※上記の表の建玉必要証拠金はスタンダードコースのものであり、ハイレバレッジコースの場合、それぞれの建玉必要証拠金は半額となります。
※EUR/JPY、AUD/JPY、CHF/JPY、EUR/USD、ZAR/JPYの各通貨ペアに関しては変更ありません。

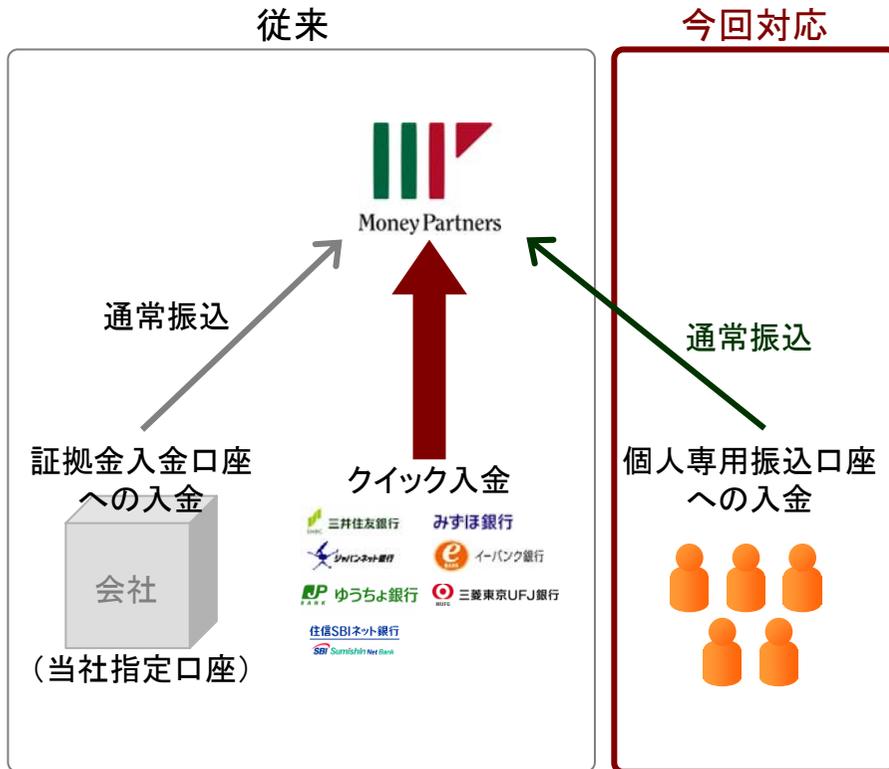
顧客に対して可能な限りの最良の取引条件と取引環境を提供



Money Partners Group

顧客向けサービス関連の取組み

◆ お客様専用振込口座の開設



◆ 自動音声によるリアルタイムレート配信開始

9/29(月)AM7:00~
ドル/円 リアルタイムレート配信開始

24H
対応

+

2カ国語
対応
(日・英)

ドル/円のBid-Askを
IVR(音声自動応対装置)を通じて提供

- 顧客入金口座の口座反映の時間短縮を実現
- 入金確認の問い合わせに対し、迅速な対応が可能に

- 顧客の利便性向上とともに、コールセンターの負荷分散を実現

顧客のニーズ1つ1つに対応し、顧客満足度を向上

※相場急変時、指標発表時、市場の流動性低下時は除く



Money Partners Group

顧客向けサービス関連の取組み

◆ オリジナル多機能ブログパーツの提供

当社の提示する為替レートやスワップポイントの最近情報で手に入るブログパーツを提供開始

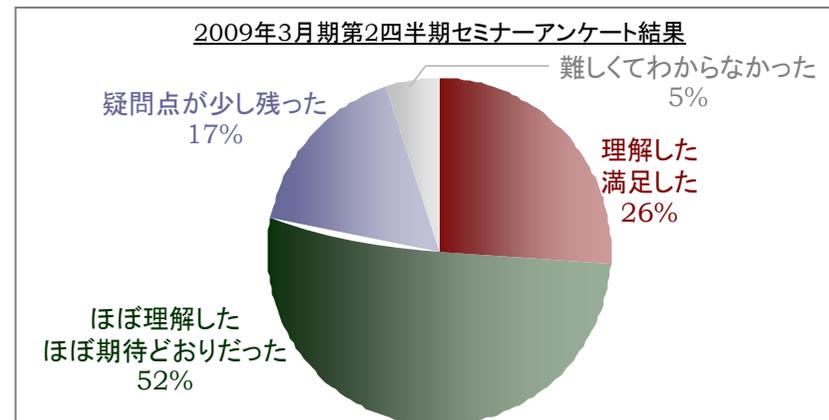


- **為替レート**
パートナーズFXで提供させる10通貨ペアのレートを自動更新して表示
- **前営業日高安**
前営業日の高安をチェックして相場予想も可能
- **デイトレードウォッチャー**
デイトレードウォッチャーによるニュースの確認が可能
- **スワップポイント**
スワップポイントの一覧表示
- **為替チャート**
MoneyPartnersで取扱中の10ペアのチャートが切り替え表示可能
- **アンケート**
あなたは少数派？それとも多数派？等の様々なアンケートを提供

◆ 継続的なwebセミナー開催

2009年3月期 第2四半期に実施したwebセミナー

- 7/9 「自分にあった通貨を見つけよう」～通貨を知って自分だけのスタイルを！パート2～
- 7/16 「テクニカルセミナー初級編」～今回はレンジ相場に役立つテクニカル～
- 7/23 『HYPER SPEED』質問箱～あなたの疑問に答えます～
- 7/30 「夏本番！武市セミナー」～もうすぐ雇用統計、来週にはFOMCも...～
- 8/6 「大切なこと、忘れていませんか？」～今回はリスク管理セミナー～
- 8/20 ご要望にお応えして！またまたテクニカルセミナー初級編～今度はトレンド形成時に役立つテクニカル～
- 8/27 サブプライム問題から一年。武市佳史が語る、2008年後半の為替相場は...
- 9/10 『HYPER SPEED』を使いこなす第一歩～ハイスピ活用術基本編～
- 9/17 「テクニカルセミナー初級編パート3」～組み合わせで活用しよう！～
- 9/23 「テクニカルセミナー初級編パート3」～組み合わせで活用しよう！【祝日編】～



顧客のニーズ1つ1つに対応し、顧客満足度を向上

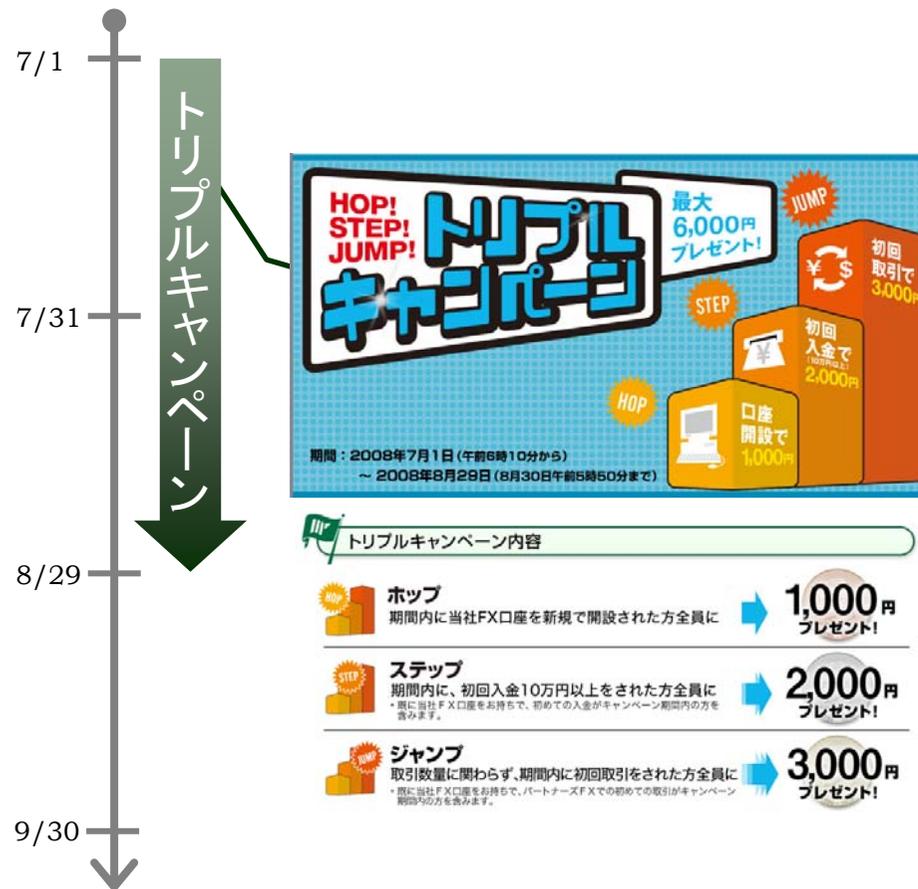


Money Partners Group

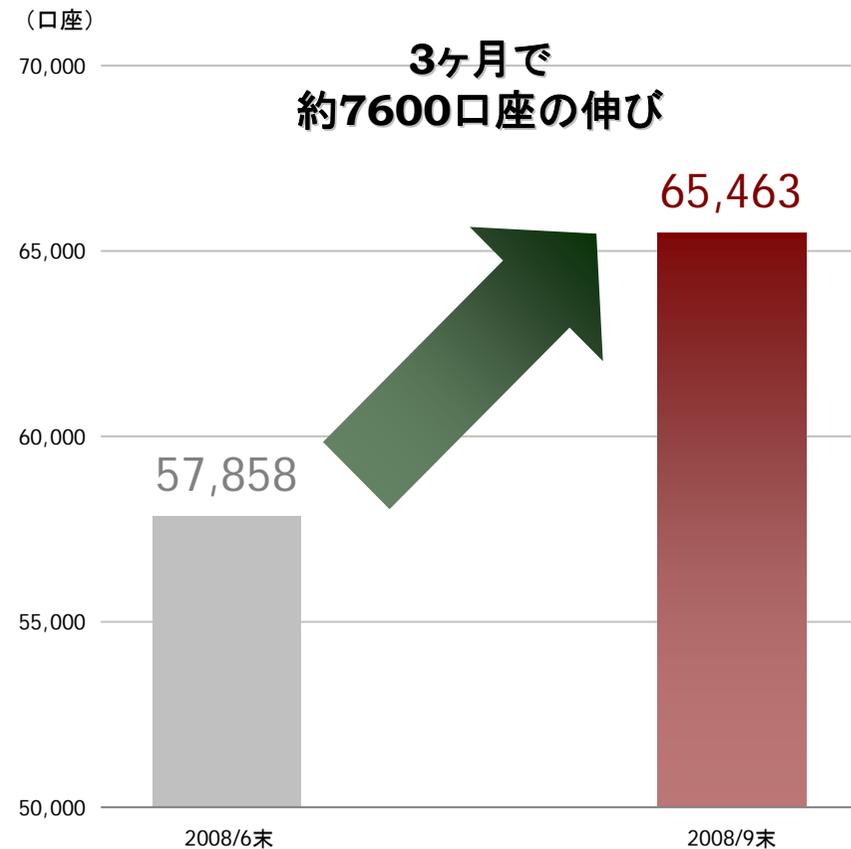
顧客基盤拡大に向けての取組み

◆ 継続的なキャンペーン実施による顧客基盤の拡大

7月～9月も、継続的に各種キャンペーンを実施



【顧客口座数】

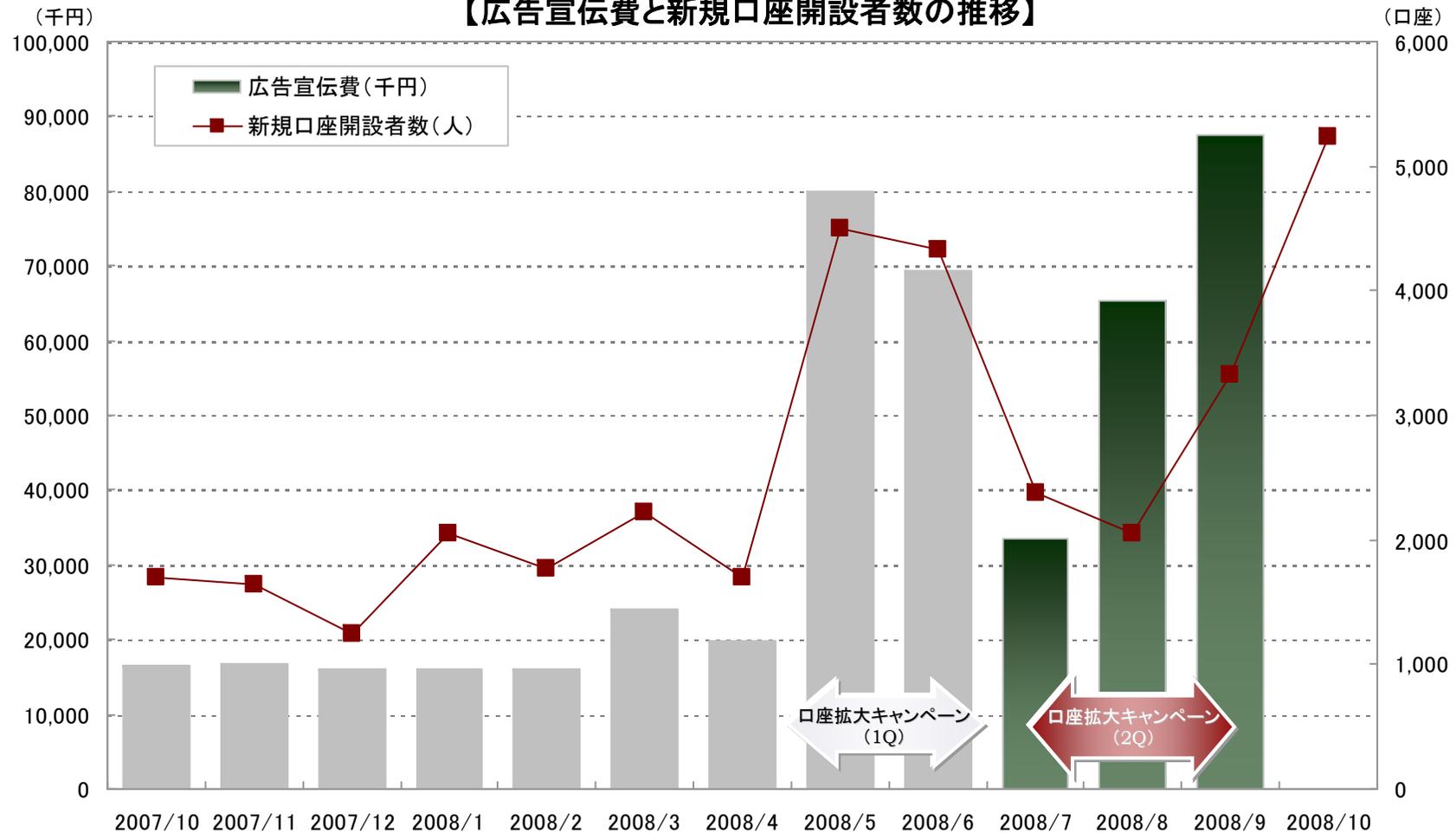


新規ユーザー獲得を狙った口座拡大キャンペーンを効果的に実施

顧客基盤拡大に向けての取組み(ご参考)

◆ 継続的なキャンペーン実施による顧客基盤の拡大

【広告宣伝費と新規口座開設者数の推移】



広告宣伝を効率的に行うことにより、順調に顧客を獲得



Money Partners Group

顧客基盤拡大に向けての取組み

◆『パートナーズ FX nano』及び『XFX』リリースによる顧客層の拡大

PartnersFX nano

- 最小取引単位は**100通貨単位**から。
建玉必要証拠金は**100円**から。

～少額から実感のあるトレードが可能。
デモトレードにはないリアルな体験が得られる
- 取引手数料も口座管理費も**無料**。

～ミニ株などの手数料が割高になる小規模取引と異なり、
手数料無料を維持。「初心者に優しいFX」を実現
- ポジションは日毎に決済。スワップポイントにとらわれない
取引が可能
- 取扱い通貨ペアは主要クロス円通貨ペアの8通貨ペア
(USD/JPY、AUD/JPY、EUR/JPY、他)



2008年10月6日(月) サービス提供開始！

FXへの無関心層、逡巡層、回避層へもリーチしうる商品性による個人投資家層の拡大を図る

顧客基盤拡大に向けての取組み(ご参考)

◆『パートナーズ FX nano』及び『XFX』リリースによる顧客層の拡大

【従来サービス(パートナーズFX)との比較】

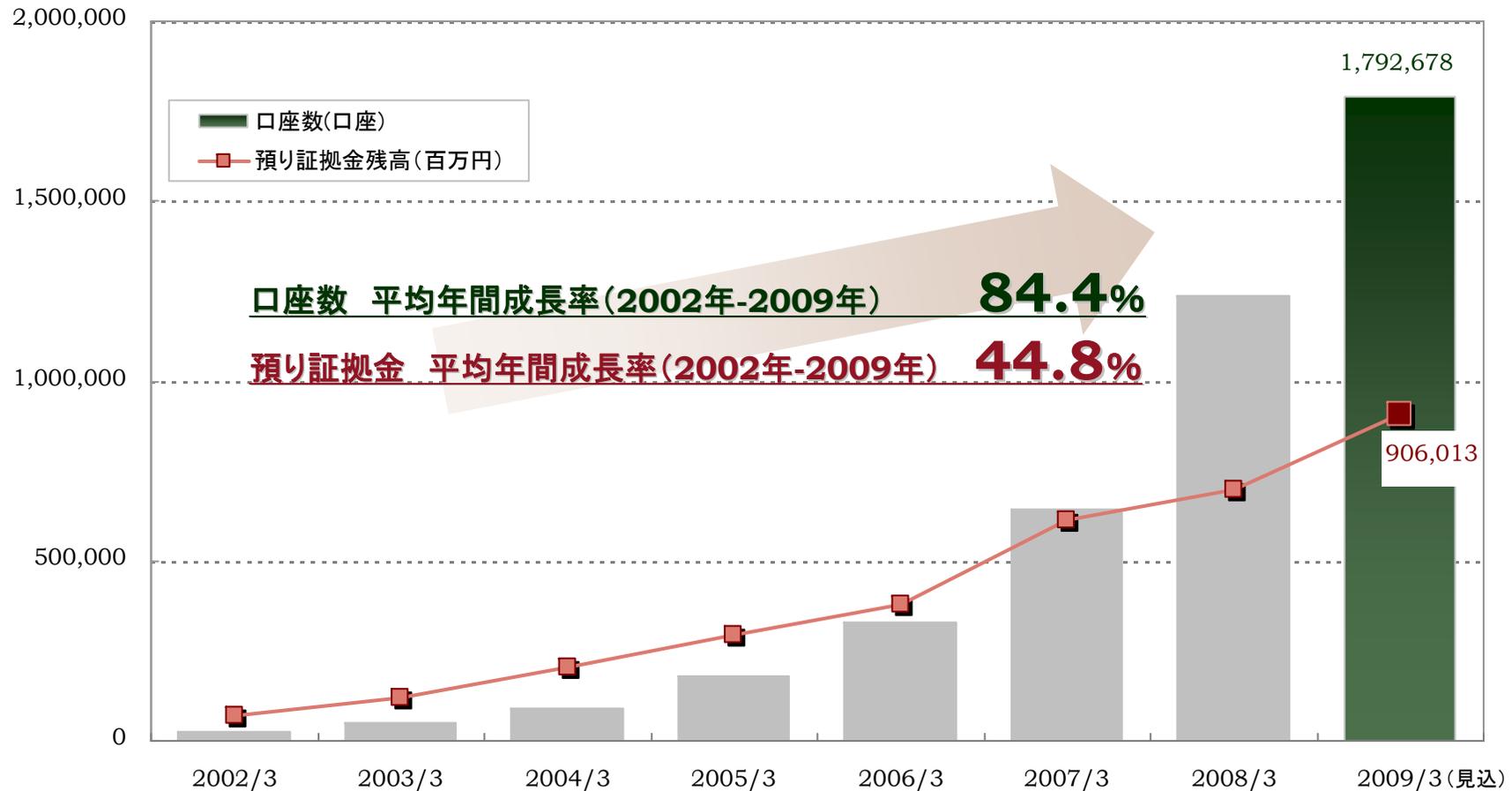
	PartnersFX	PartnersFX nano
取引通貨ペア	10	8
最商取引単位	10,000通貨単位	100通貨単位
最低必要証拠金	USD/JPYの場合 スタンダード:20,000円 ハイレバ:10,000円 (ZAR/JPYは スタンダード:10,000円 ハイレバ:5,000円)	USD/JPYの場合 200円 (ZAR/JPYは100円)
呼値(表示桁数)	0.001円(小数点以下3桁)	0.01円(小数点以下2桁)
通常時スプレッド	USD/JPY : 2~ CAD/JPY : 8~ EUR/JPY : 4~ GBP/JPY : 8~ AUD/JPY : 3~ CHF/JPY : 8~ NZD/JPY : 8~ ZAR/JPY : 3.8~	USD/JPY : 6~ CAD/JPY : 10~ EUR/JPY : 6~ GBP/JPY : 10~ AUD/JPY : 8~ CHF/JPY : 10~ NZD/JPY : 10~ ZAR/JPY : 8~
手数料	0円	0円
取引期限	定めない (無期限ロールオーバー)	1営業日内 (NYクローズ時に終値にて自動反対売買[引成決済])
スワップ	通常ロールオーバー毎に発生	発生しない
注文方法	ストリーミング、指値、IfDOne etc... ※ASは希望者のみ	ASストリーミングのみ
取引ツール	WEBおよびWEBモバイル ハイパースピードおよびハイスピモバイル	WEB XFX

パートナーズFXと比較し、より理解しやすい商品とすることで、初心者層の取込を図る

Ⅲ.当社を取り巻く環境



FX市場は順調に推移



(数値は矢野経済研究所調べ)

口座数および預り証拠金も順調に増加し、引き続きFX市場は拡大の見込み

外為証拠金取引を巡る市場環境

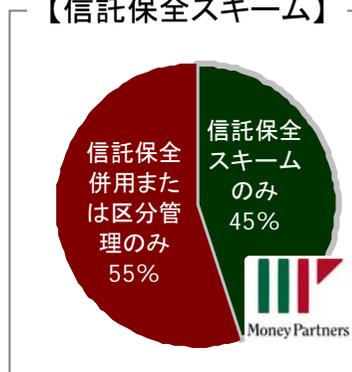
商品性に加え、安全性・信頼性がFX会社選びの重要ポイントに

■ 取引手数料の無料化、高レバレッジ・低スプレッド化が進み、商品性競争は頭打ちの状況へ

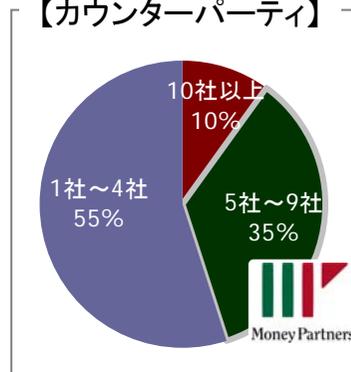
➡ 完全信託保全の有無や接続カウンターパーティ数の多さなどの安全性および、相場急変時のシステム安定稼働などの信頼性へと顧客の視点がシフト

顧客資産の安全性 + システムの信頼性

【信託保全スキーム】



【カウンターパーティ】




Money Partners

- ✓ いつでもつながるシステム
- ✓ 常に止まらないシステム
- ✓ 確実に約定できるシステム

※矢野経済研究所「外国為替証拠金取引の動向調査結果2008」掲載の個別FX会社20社の情報およびホームページ等公表データより当社作成(2008年10月時点)

金融危機のさなか、顧客資産の安全性とシステムの信頼性が重要視される傾向に



FXの拡大に伴うシステム負担増加と対応力

相場急変時の取引システムの安定性に明暗

【10/6～10/11に発生した同業他社・取引所のサービス不具合状況】

	障害発生日		障害内容	原因
A社	2008/10/6	22時頃～ 翌1時20分頃	市場レート配信遅延 市場レート配信停止	取引数量増大によるシステムの自動停止および一部障害発生
B社	2008/10/6	23時頃～ 翌0時30分頃	取引画面遷移遅延、ログイン時エラー、 約定の遅延/または取引不能	取引画面へのアクセスと約定の集中によるデータベースサーバーの処理遅延
C社	2008/10/6	11時20分頃～ 11時40分頃	取引システムの不安定化	調査中
D社	2008/10/6	深夜	ホームページの接続障害	ホームページへのアクセス急増
E社	2008/10/6	3時20分頃～ 4時40分頃	取引注文不能	負荷集中に伴う注文処理アプリケーションの不具合
F社	2008/10/6 2008/10/8	23時頃～24時頃	レート更新停止、ニュース配信停止 約定遅延、ログイン遅延、レート配信遅延	取引システムへの過大な負荷

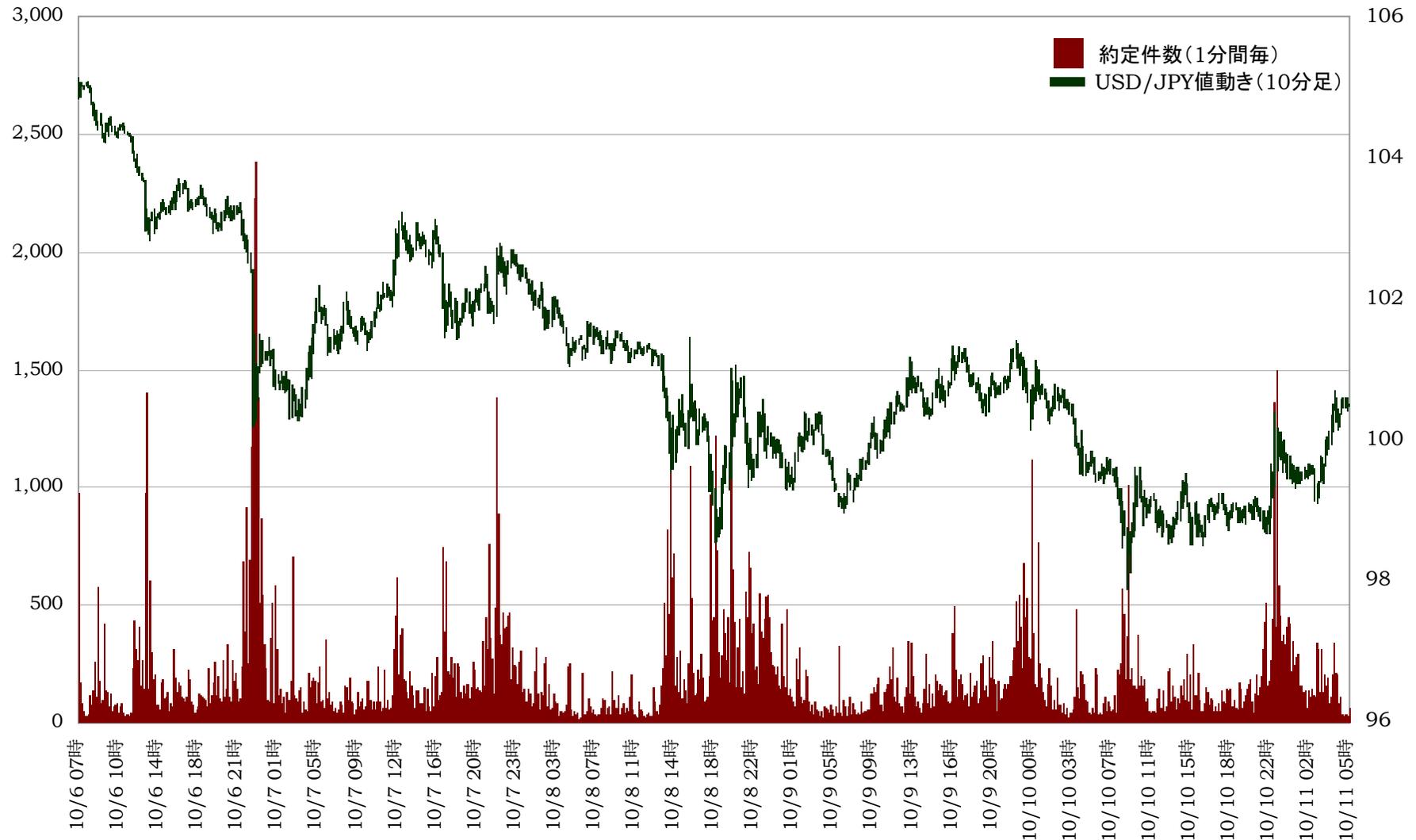


相場急変時も障害発生なし 顧客注文を100%約定

継続的かつ徹底的なシステム投資が功を奏し、当社サービスは高い安定性を実現

FXの拡大に伴うシステム負担増加と対応力(ご参考)

【10/6～10/11までのドル/円値動きと当社約定件数の推移】





FX業界を巡る昨今の状況

一部FX業者の破産や証拠金管理体制の甘さがクローズアップ

- 2008年9月には一部FX業者に対して、業務停止命令などの行政処分
- 「人気金融商品の落とし穴、破産相次ぐFX業者」と題した報道
- SECによるシステムへの問題点指摘
- 金融庁が2009年にもFX業者に対し信託保全を義務づける方向へ

FX業者に対し、財務状況・業務管理体制・資産保全体制などについて不安感が発生



Money Partners

万全の信託 スキーム完備	金融庁の 臨店検査をクリア	リスク管理 システムの 拡充へ注力	基幹システムの 安定化を推進	カウンターパーティ リスクを極力排除
日々、保全すべき顧客純資産を算出し、その100%以上を信託保全スキームにより区分保管	2006年10月には金融庁関東財務局ならびにSECによる臨店検査を終了。2007年8月のサブプライムショックに関しても8月末に報告済み	自動ロスカットに加え、アセットコントロール等の顧客自身によって決定可能なリスク管理システムを導入	ハードウェア・ソフトウェアの安定において負荷分散と負荷軽減に取り組み、顧客に万全の取引環境を提供。2つのデータセンターを運用し、FX業界最高レベルのシステムを構築	カウンターパーティの追加とともに安全管理を徹底し、万一、カウンターパーティが破綻しても顧客資産の安全性を確保(2008年9月リーマン破綻時も当社に影響なし)

当社の業務管理体制および顧客資産保全体制は健全であり、不安要素はなし

IV. 今後の戦略及び重点課題

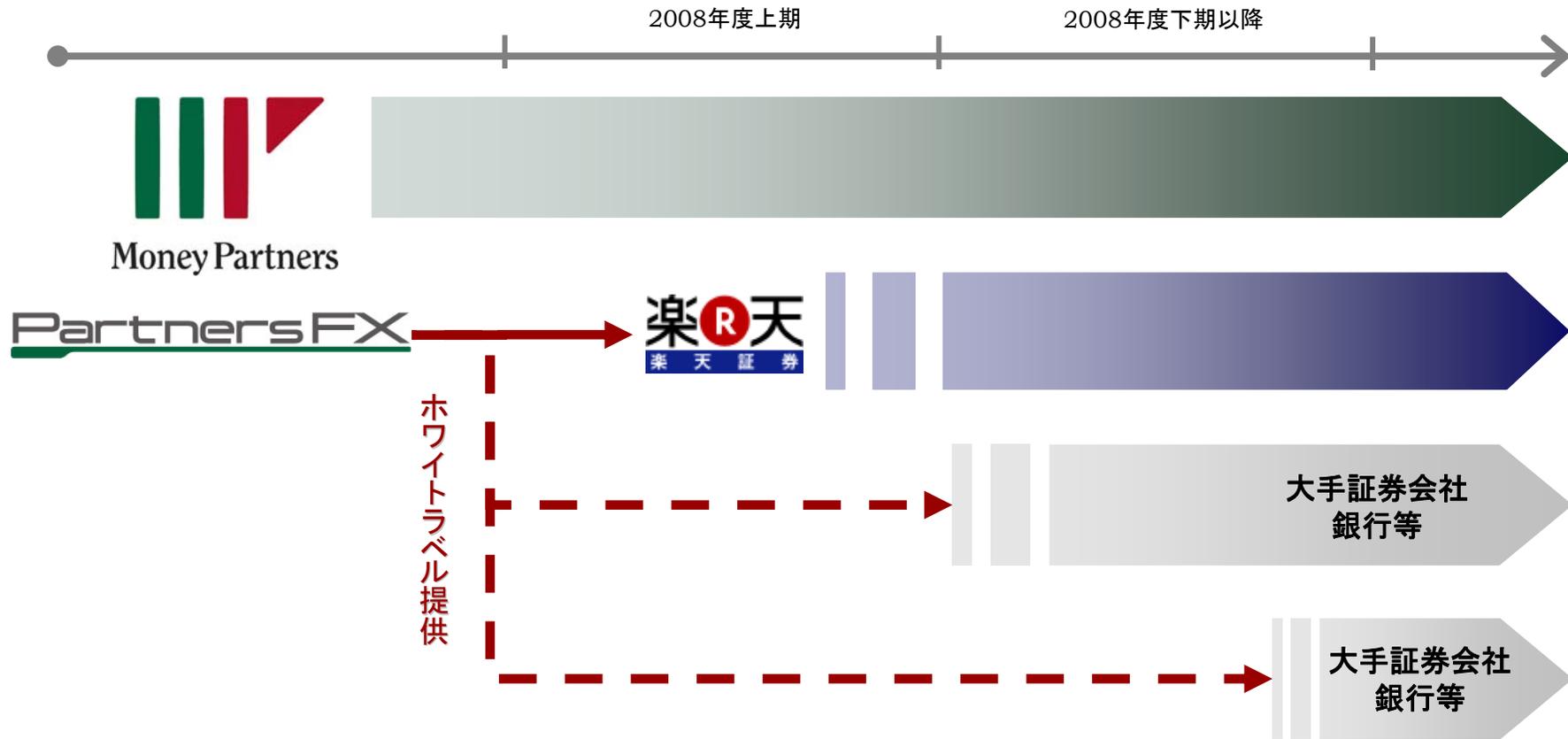




重点課題①FXビジネスBtoB展開の促進

Money Partners Group

■当社FXシステムのホワイトラベル提供の横展開を更に強化



大手証券会社や銀行等を中心に、1年に1~2社のペースでホワイトラベルを展開する予定

当社グループの持つ経営資源を有効活用し、FX業界でのシェア拡大を図る

■ビギナーからセミプロまで満足していただけるツール・商品サービスの開発



新規投入

PartnersFX nano
(簡易トレードツール)



「XFX」

- 小額からのトレード(100通貨単位から)
- 分かりやすさ、取引のしやすさ重視
- 手数料無料など、取引コストは低減



PartnersFX
(高性能アプリケーション)



「Hyper Speed」



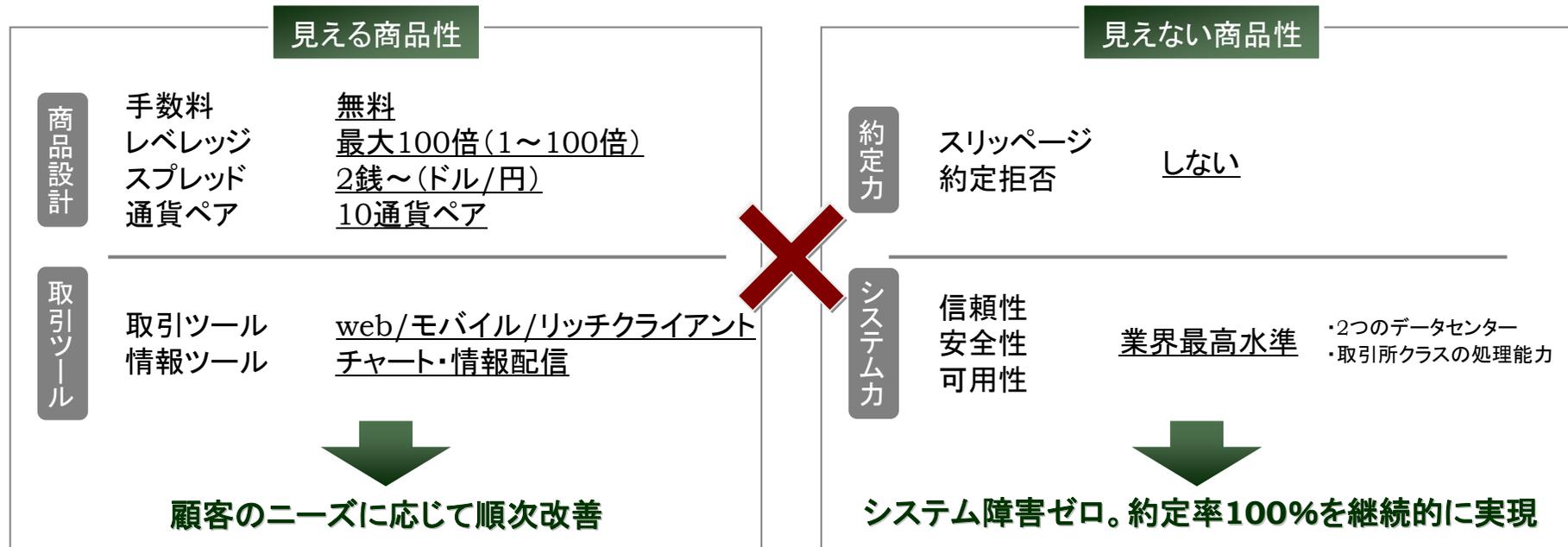
「Hyper Speedモバイル」

- まとまった資金でのアクティブなトレード(10,000通貨単位から)
- 機能性、商品性重視
- 取引コストの最小化のみならず、「約定力」も更に強化

パートナーズFX nanoの投入によりFXの一般化、裾野の拡大を目指す

重点課題③更なる商品性の向上と約定力の強化

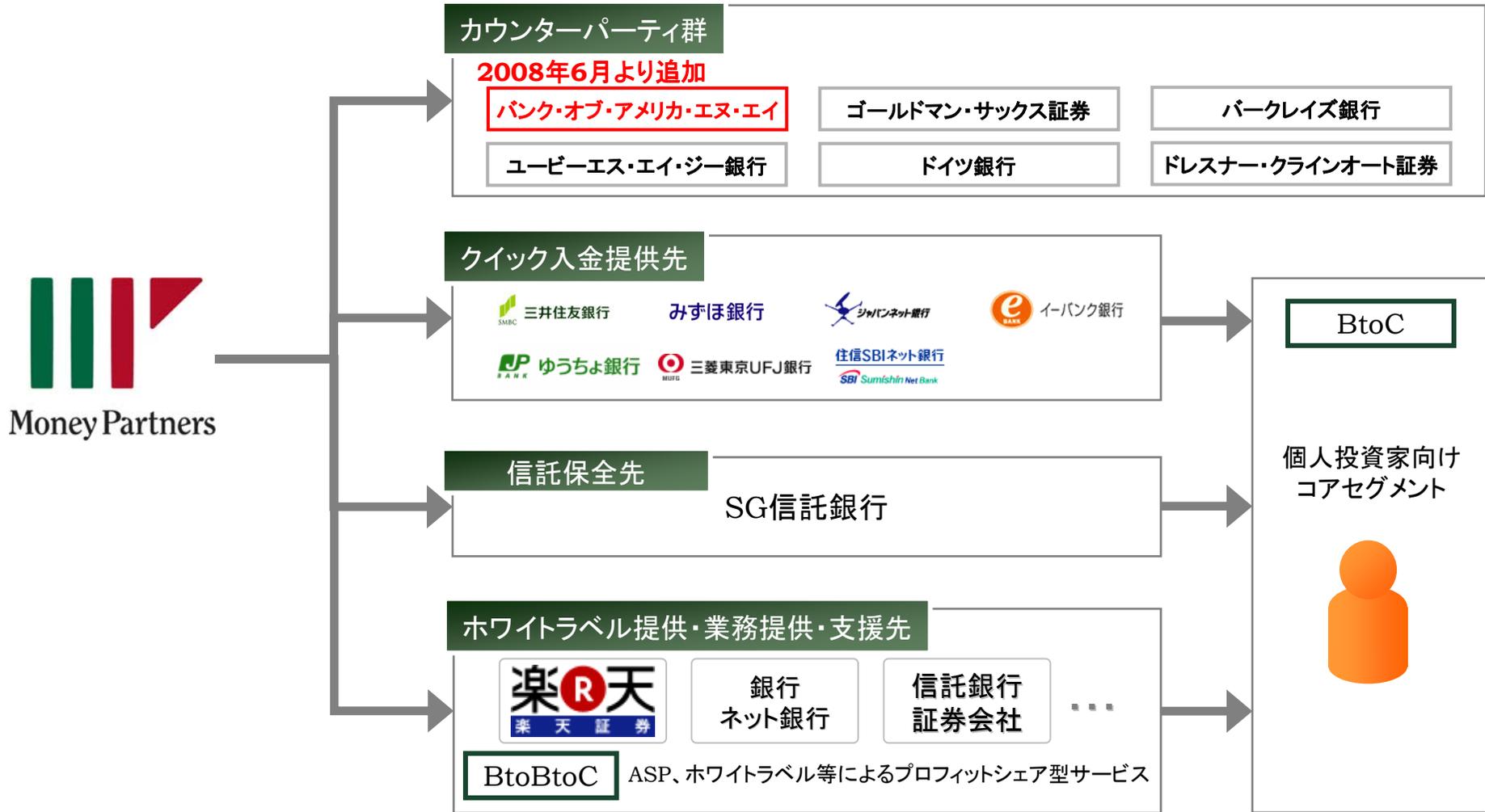
- 顧客に提示したレートで必ず約定する「ディーラブルプライス」の提示をさらに強化



見た目のスペック以上に顧客の「安心」を重視

「約定力のマネパ」というイメージを定着させ、さらに強化する

■ カウンターパーティやBtoBのビジネスパートナーを拡大



コーポレートアライアンスの拡大によりビジネスシナジーを強化

- 2008年10月1日に持株会社体制へ移行

持株会社化の目的

- 環境変化、競争激化に対応し、資本の効率化と経営自由度の向上
- 管理機能と業務執行機能の分離を行いコーポレート・ガバナンス体制を強化
- 各事業会社の責任と権限を明確化
- 戦略的意思決定の迅速化、スピード感のある経営、機動的な業務執行を効率的に行う



より一層の株主価値向上へ



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～ビジネスと顧客基盤の強化・拡大

- FXビジネスの縦(新商品開発)及び横(ASP)展開による収益基盤の拡大
- 初心者層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- OTCの特性を活かした金融デリバティブ商品の展開



個人投資家に対し、FXを軸にした、当社独自のOTC金融デリバティブ商品を展開する

V. 当社の経営目標及び株主還元について



高水準のROEおよび営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2009年3月期第2四半期のROEは34.4%

- ・当期純利益の大幅な拡大によりネット証券並みの水準まで回復。
- ・営業収益の増大により更に高水準のROEの達成を目指します。

※:2009年3月期第2四半期ROEにつきましては、下記計算式により算出しております。

$$\text{ROE} = (2009年3月期第2四半期純利益 \times 4) \div ((2009年3月期第2四半期期首自己資本 + 第2四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$$

▶ 2009年3月期第2四半期の営業収益経常利益率は41.4%

- ・経常利益の拡大が寄与し、営業収益経常利益率は大幅に改善。
- ・システム関連費用等の先行投資が一巡し、更に高水準の利益率の達成を目指します。

2008年11月～12月にかけて自己株式取得を決定

取得理由

経営環境の変化に対応した機動的な
資本政策の遂行を可能とするため

【取得に係る事項の内容】

- (1) 取得する株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 : 8,000 株(上限)
- (3) 株式の取得価額の総額 : 5 億円(上限)
- (4) 取得期間 : 平成20年11月11日～平成20年12月30日

2009年3月期の配当政策および配当金について

当社株式を長期保有していただく株主の皆様へ業績に応じて株主配当を行うことで株主利益の最大化を目指してまいります。

配当政策

連結当期純利益の25%を
配当性向の目処とする予定

	2007年12月期				2008年 3月期 (変則決算: 3ヶ月)	2009年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	665	710	880	594	585	287	663	—	—
配当金の総額 (百万円)	709				146	—			
期末発行済株 式総数(株)	317,490(※1)				317,760	—			
1株当たり 配当金	2,233円(※2)				460円	—			

※1 1株当たり配当金を比較可能とするため、2008年1月1日の株式分割(3分割)が2007年12月期期首に行われたと仮定して算出しております。

※2 株式分割前1株当たり配当金=2,851百万円(連結当期純利益)×25%÷105,830株(期末発行済株式数)= 6,700円
株式分割後1株当たり配当金=6,700円÷3= 2,233円 (2008年1月1日に株式分割(3分割)をしており、上記配当実績は株式分割後の1株当たり配当金額になります。)

2009年3月期 第2四半期決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

参考資料



当社の概要と沿革について
当社の事業内容、収益構造、通貨ペアと売買高比率について
当社の強みと特徴について



Money Partners Group

グループ概要(平成20年10月1日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億4,188万円 (2008年10月1日現在)

- 主な事業内容 持株会社

■ 関連会社

株式会社マネーパートナーズ

加入協会: 日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会

登録番号: 関東財務局長(金商)第2028号

事業内容: 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務

2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務

3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

株式会社マネーパートナーズソリューションズ

事業内容: 1. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守

2. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、調査、研究およびコンサルティング



社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス

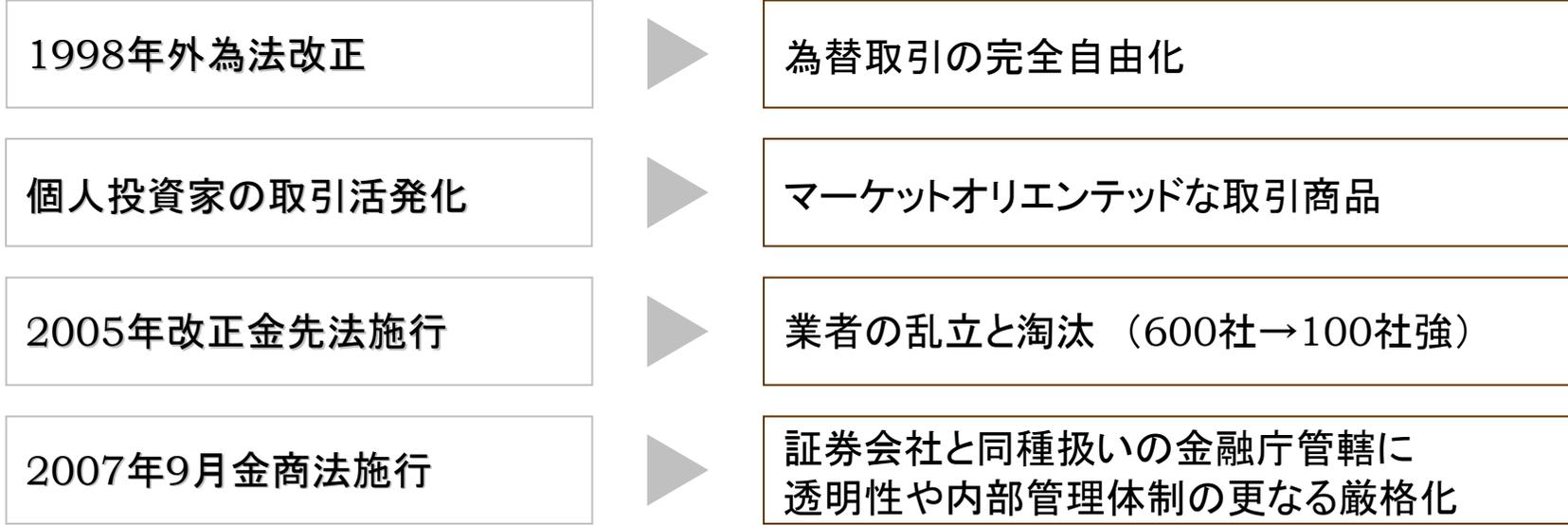


年月		事項
平成17年6月	新設分割	□ 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	□ インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプレクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	□ 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	□ 金融先物取引業登録(登録番号:関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 □ 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	□ エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ 25倍→50倍	□ インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	□ 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社設立	□ システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	□ レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 □ モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	□ CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 □ 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシーマーク 取得	□ 「プライバシーマーク」認定取得
平成19年6月	上場	□ 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード:8732)
平成19年9月	第一種金融商品取引業 登録	□ 金融商品取引法施行に伴い第一金融商品取引業者として登録
平成20年3月	金融商品取引業の 変更登録完了	□ 有価証券の取扱い業務開始
平成20年4月	格付取得	□ 株式会社日本格付研究所(JCR)より新規に格付を取得(短期優先債務:J-3)
平成20年6月	提示レート・小数点以下 3ケタ対応開始	□ 全ての対円通貨ペアの提示レート・小数点以下3ケタ対応開始
平成20年10月	持株会社化	□ 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更 □ 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社(10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更)に承継し持株会社体制へ移行

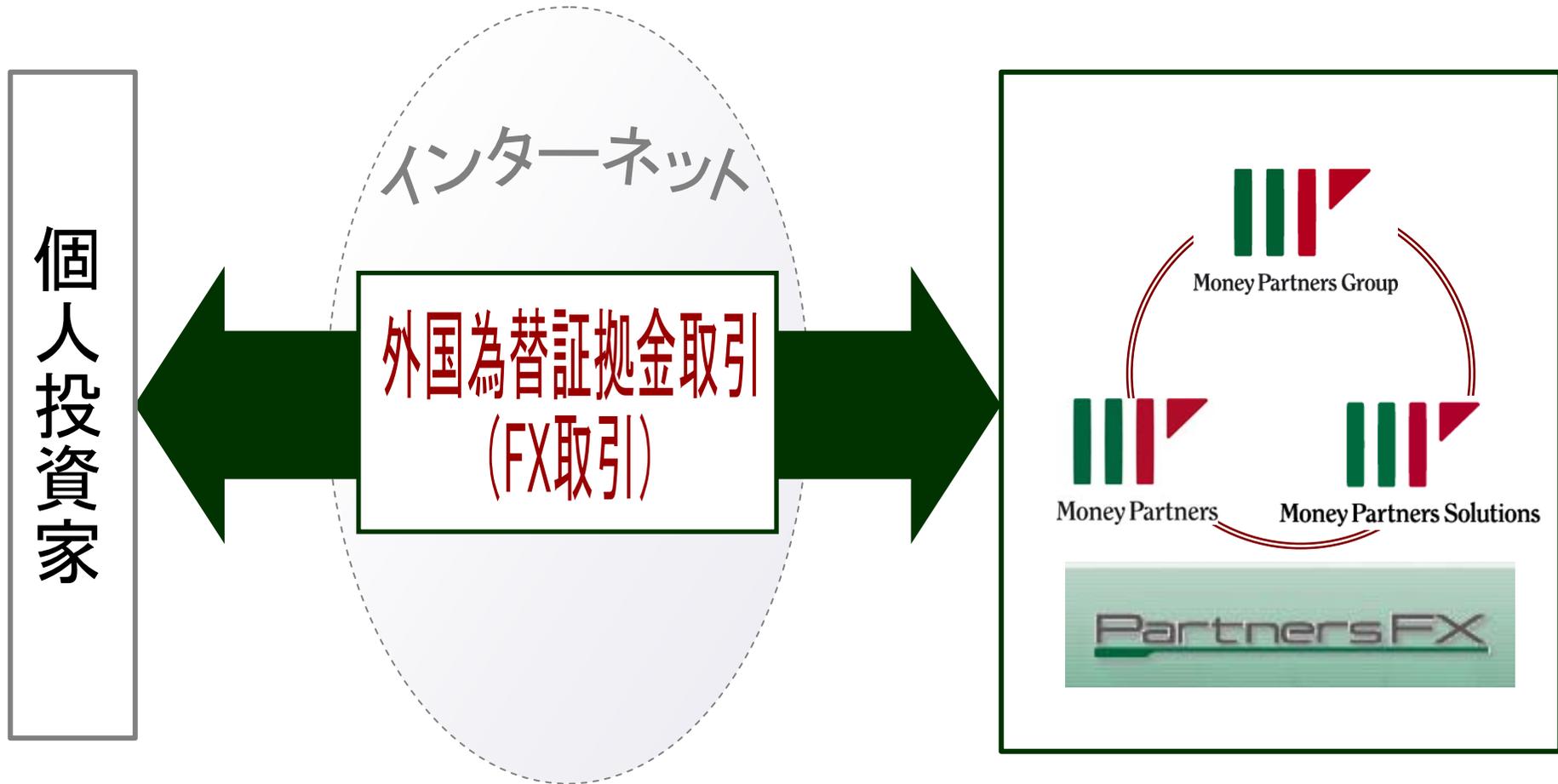
平成18年7月よりインターネット取引手数料の完全無料化



Foreign Exchangeの略 ⇒ FX取引



激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
マネーパートナーズはFX専業・ネット専業の業者として
業績を拡大しています。

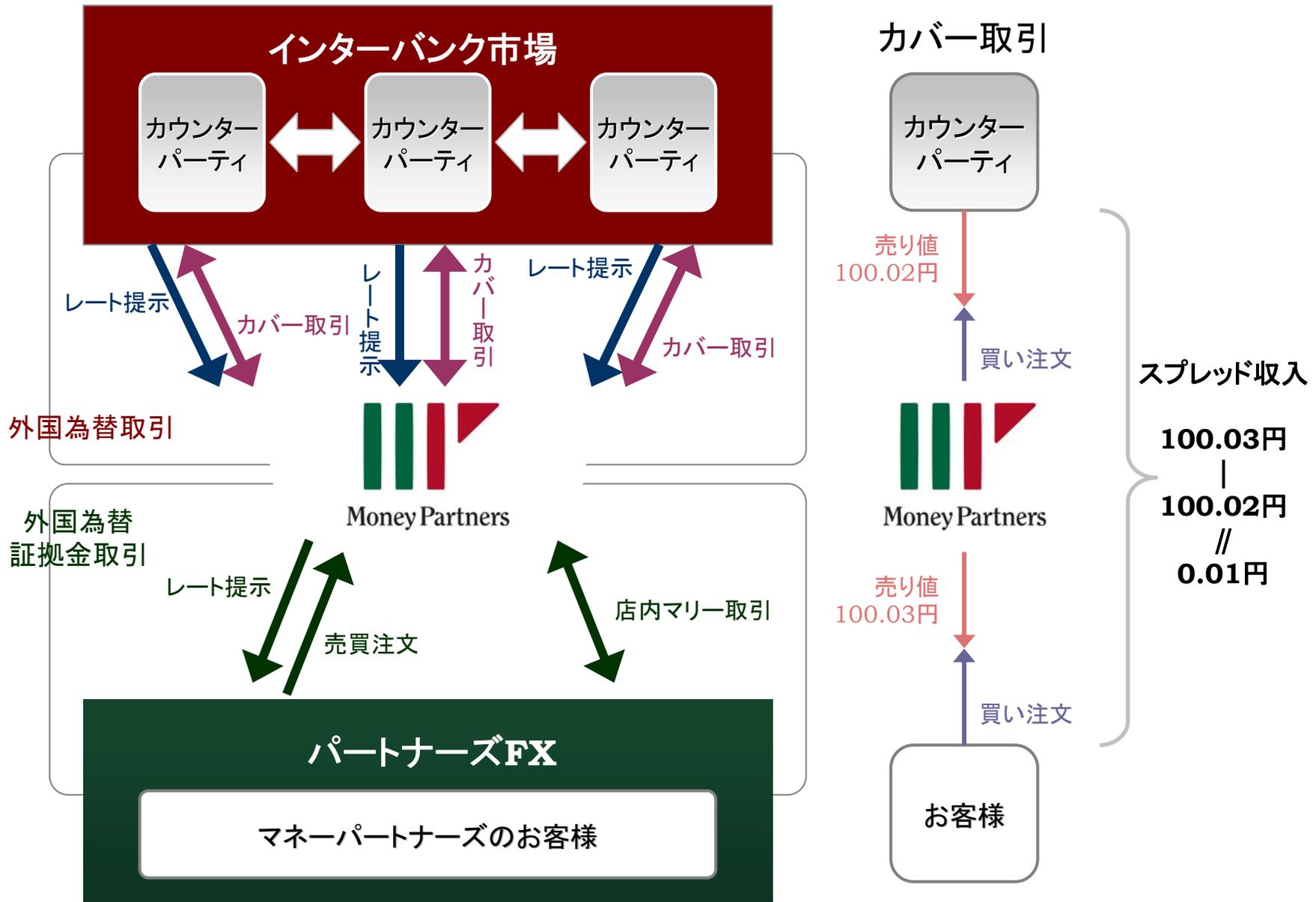


当社グループは、業界最高レベルの商品性を誇る個人向けFXのご提供を軸とした事業展開を行っております。
当社グループは、他の金融機関へのホワイトラベル提供(ASPビジネス)も行っております。
当社グループはFXにとどまらず、OTCデリバティブの分野において、新たな事業機会に積極的に取り組んでまいります。



Money Partners Group

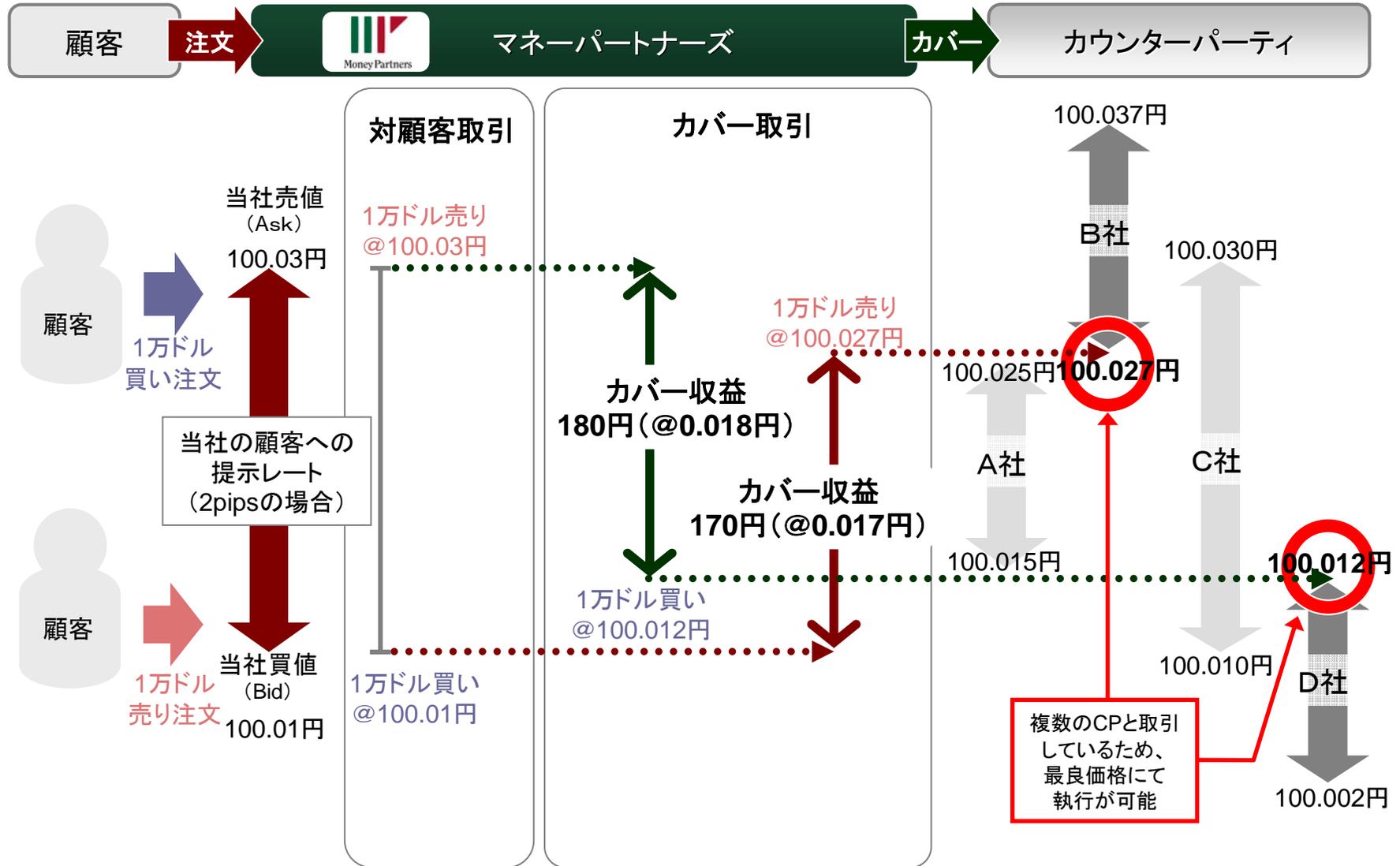
マネーパートナーズの収益構造





Money Partners Group

マネーパートナーズの収益構造



マネーパートナーズの取扱い通貨ペアと売買高比率

米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引が可能。さらに投資家のニーズに応える形で『FXnano』を開始し、一部通貨ペアに関しては、約10000分の1となる100単位での取引を実現。

当社取扱い通貨ペア



USDJPY
米ドル円



AUDJPY
豪ドル円



EURJPY
ユーロ円



NZDJPY
NZドル円



GBPJPY
英ポンド円



ZARJPY
南アランド円



CADJPY
カナダドル円



CHFJPY
スイスフラン円

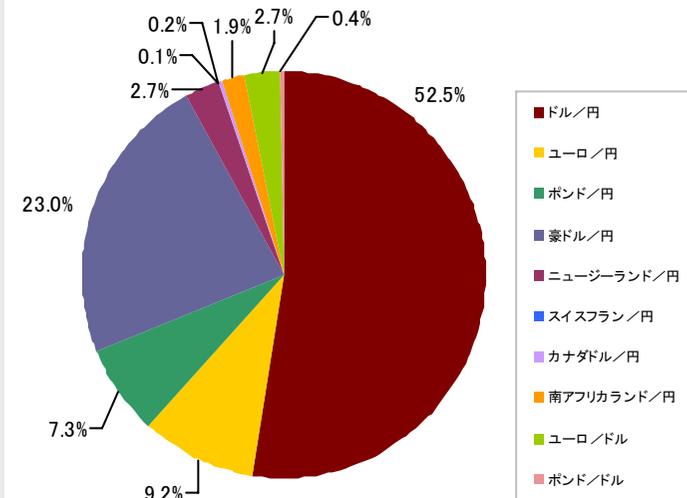


EURUSD
ユーロ米ドル



GBPUSD
英ポンド米ドル

下記グラフは当社の平成20年9月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。



今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性

- 手数料や会員費に頼らないトランザクションに依拠した収益構造
- 業界に先駆けて導入したインターネット取引手数料無料化や、スプレッドのナロー化、顧客ニーズを取り入れた取引システム開発など、ユーザーの満足度を徹底的に追求
- 常に顧客の利便性を追求した施策を打つことにより、顧客増加→取引量の増加の好循環を実現

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤

- インターネット取引に注力することによりデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取り込みと定着化に成功
- ビギナー層の取り込み ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を行うことで、収益貢献度の高い顧客基盤を実現

3. グループ会社を通じたシステムの内製化

- 100%出資のシステム子会社を保有することで、柔軟・迅速な対応が求められるネット企業においてシステム設計・開発、自社所有、システム保守・運用に関する優位性を確保

マネーパートナーズの特徴

- ✓ 顧客の資産管理をサポートする新リスク管理システムの導入
(3重のリスク管理によるリスクを限定した取引)
- ✓ リッチクライアント型トレードシステム「Hyper Speed」利便性向上のためのバージョンアップ
- ✓ モバイル取引への対応「Hyper Speedモバイル」
※当社取引高に占める割合 ウェブ35%、アプリ45%、モバイル20%

**ユーザビリティを
第一に考えた
システム&ツール開発**



**FX業界における
トップクラスの
システムインフラ**

**顧客重視の姿勢から
生み出される
高い商品性**

- ✓ ネット証券水準のデータベースサーバ・アプリケーションサーバ、Webサーバを保有
- ✓ 第1、第2データセンターにてBCP、DRの要件にも対応
- ✓ ドル/円スプレッドの2銭恒常化
- ✓ ディーラブルプライス(約定可能価格)でのスプレッド提示
- ✓ 全通貨ペアのスワップスプレッドのナロー化



取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から4万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

パートナーズFXnanoは、取引通貨の価格の変動により、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引はインターネットを通じてのみ可能で、取引手数料は新規・決済共に無料です。取引に必要な証拠金は100通貨単位あたり100円から400円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、約定代金の1.05%の手数料(最低手数料は525円、消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)

〈登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会

2009年3月期 第2四半期決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

2008年11月12日